



全国の学校の「自慢の通知表」集まれ！

第3回 校務支援システムによる

通知表コンテスト



受賞結果

第3回校務支援システムによる通知表コンテストには、おかげさまで多くの応募をいただきました。
ご応募くださった皆様に心より御礼申し上げます。

第3回校務支援システムによる通知表コンテストの受賞結果は、以下のようになりました。

最優秀賞

1校

熊本県 山江村立山田小学校

優秀賞

3校

山形県 米沢市立東部小学校

福岡県 八女市立筑南小学校

佐賀県 佐賀市立西与賀小学校

主催 校務情報化支援検討会
後援 スズキ教育ソフト株式会社
鈴木楽器販売株式会社
協賛 株式会社鈴木楽器製作所

お問い合わせ先

校務情報化支援検討会

〒430-0815 静岡県浜松市南区都盛町 157-1
<http://www.koumu-shien.jp>

事務局 通知表コンテスト係(担当：宮田)
TEL:053-444-0085 FAX:053-444-0086

審査総評

私たち校務情報化支援検討会が実施する「校務支援システムによる通知表コンテスト」も3回目となりました。応募校の通知表の中には、第1回、第2回の受賞校の通知表を良いモデルとして、改善をしたという学校も見られました。本コンテストから通知表を変えてみようという動きにつながっていることを嬉しく思います。

通知表は、文部科学省により「作成、様式、内容等はすべて校長の裁量」と定められている書類です。通知表がどのような様式か、通知表にどのような情報が載っているかを見ると、その学校の経営のビジョンや、先生方がどのようなポイントを評価しているかがわかります。管理職の先生方には、通知表は「学校経営のビジョン」を直接、保護者に伝えることができるツールとして捉えていただきたいと思います。

そのため、通知表ではより質の高い情報を提供する必要があります。多くの評価データをもとに通知表を記載するためには、手書きの通知表では限界があります。また、ICTの得意な一部の教員が表計算ソフトを用いて作成した通知表を使っているところもありますが、この方法には信頼性と情報漏洩および担当教員の異動による持続可能性の低下という学校経営上の課題があります。より質が高く、的確な情報を提供するために、校務支援システムの活用を進めてほしいと思います。

本コンテストは、各校の通知表に優劣を付けるということではありません。保護者に伝えたい情報がしっかり伝わっている、すばらしい通知表を表彰することにより、ぜひ他の学校の参考としていただきたいと思います。

第3回校務支援システムによる通知表コンテストには、小学校13校、中学校1校の合計14校から応募をいただきました。ご応募くださった皆様に心より御礼申し上げます。

審査は、通知表と応募用紙の記述をもとに行いました。通知表からは、通知表の形態・ページ構成、記載項目、レイアウトの見栄え、記入例の内容等の評価を行いました。応募用紙の記述からは、通知表の実物からは読み取れない、記載項目やレイアウトの工夫・こだわり、校務支援システムの効果的な運用、通知表配布までの工程・体制等について読み取り、評価を行いました。通知表と応募用紙を展示し、審査委員が1校ずつ閲覧・分析をしました。審査委員長および審査委員（校務情報化支援検討会のメンバー）が、通知表と応募用紙の記述に対して評価点を付けました。必要に応じて通知表の見直しや相互比較も行いました。

応募校の通知表は、それぞれに様々な工夫が凝らされており、審査は大変難航しました。「学校経営のビジョン」が伝わってくるかという視点で、審査委員長と審査委員が受賞候補を選び、校務情報化支援検討会として承認するという形で受賞校を決めていきました。その結果、最優秀賞1校、優秀賞3校を決定しました。

なお、受賞作品以外にも、優れた工夫が見られる作品が多々ありました。校務情報化支援検討会としては、今後も各校の通知表の更なるレベルアップを期待しております。

通知表コンテスト 審査委員長／校務情報化支援検討会 主査
堀田 龍也（東北大学大学院 情報科学研究科・教授）



受賞通知表紹介

最優秀賞

熊本県 山江村立山田小学校

- 表紙に校訓や教育目標が入っていて、学校経営のビジョンや思いが表れている。
- 学級担任の裁量で、賞状や記録証などを一緒にファイリングして、より児童の様子が伝わる通知表である。
- 通知表の見方があり、保護者に分かりやすく見てもらえるように配慮している。
- 学年ごとにファイルの色を変えて、違いを出している。
- システムを有効に活用することによって、短縮できた時間を授業準備に充てている。



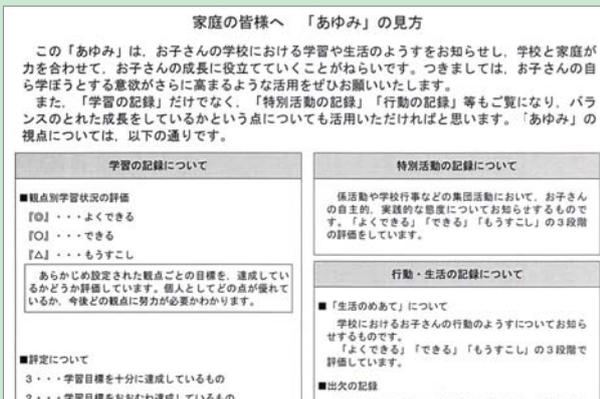
※表紙の個人写真はサンプルです



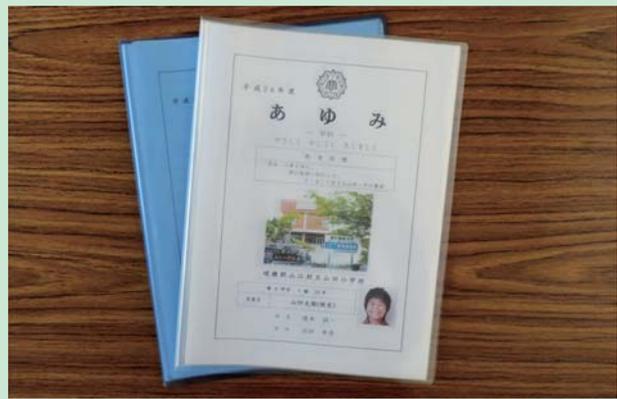
▲表紙で校訓・教育目標を伝える



▲ファイリングするものは学級担任の裁量



▲通知表の見方で保護者にもわかりやすい



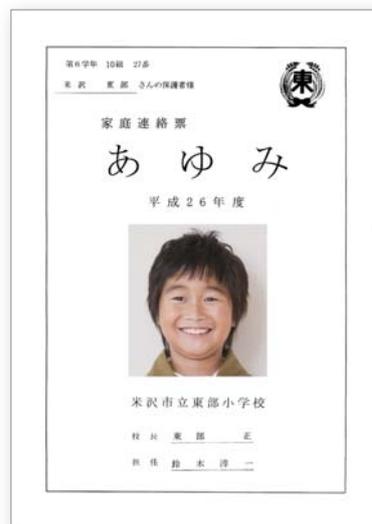
▲ファイルの色は学年ごとに違う

受賞通知表紹介

優秀賞

山形県 米沢市立東部小学校

- 通知表の見方で、教科の学習内容・行動の記録の評価ポイントを具体的に伝えている。
- システムを有効に活用することによって、昨年度の記録も参考にしながら所見を書いている。
- 通知表は、封筒に入れて保護者に手渡しするようにして、個人情報保護に努めている。
- 通知表作成のための体制や作業フローを明確にしているため、効率的に通知表づくりができています。



※表紙の個人写真はサンプルです

優秀賞

福岡県 八女市立筑南小学校

- 表紙にクラス写真が入っていて、明るい印象がある。
- 特別活動や外国語活動の観点が明確に示されている。
- 賞状、水泳や持久走の記録、学力調査の結果などを一緒にファイリングして、多方面からの成長が見えるようにしている。
- 補助簿を活用することによって、評価の根拠を説明できるようにしている。



優秀賞

佐賀県 佐賀市立西与賀小学校

- 表紙に1学期の顔写真、修了証に3学期の顔写真を入れて、変化や成長が見えるようにしている。
- 読書の記録を入れて、教科の学習以外からも学習の跡が見えるようにしている。
- 学校教育目標などの資料を入れて、学校の思いや考えを保護者に伝えている。
- 全職員で児童のよさを見取ってコメントを残し、そのコメントを所見に反映している。



※表紙の個人写真はサンプルです

校務情報化支援検討会 Web では、受賞校の通知表をより詳しく紹介しております。ぜひご覧ください。

「校務情報化支援検討会 Web」 <http://www.koumu-shien.jp/index.html>